



勤労者総合福祉センターの着工……

熊本県民総合運動公園

本県の産業構造も工業化への速度を次第に早めています。これに対応して労働力を確保し定着させて行くことが課題となって来ました。そのため勤労者福祉を向上させて行くことが対策として重要性をもって来た訳です。ちなみに県内企業の現状を見ても、大手の既存企業や最近進出して来た企業などの一部の企業を除き、大半の中小企業においては、福祉厚生施設などの労働環境に、やはり相当の遅れがあります。

このため、これらの企業に対して年金福祉事業資金など既存の各種資金を積極的に利用してもらい、勤労者福祉施設の整備や福利厚生制度の拡充をすすめるよう指導を強化するとともに、県としても教養娯楽施設やレクリエーションの場を提供する施設などをつくって行く必要があります。

★ 勤労者総合福祉センターの着工……
一億七千三百万円（債務負担）

本年度から二カ年計画で建設します。場所は九州縦貫自動車道と国道五九号線東バイパスが交差する神園山北側一帯です。この地は自然環境に恵まれた閑静なところで、交通の便もよく新産業市区域の扇の要に位置しています。「センター」は、本館、研修施設、体育施設などを総合的に設置するものです。

★ 熊本専修職業訓練校寄宿舎の建設……
一億六千九百九十七万円

熊本市御幸苗田町にある熊本専修職業訓練校は定員二百九十名、八職種について職業訓練を行なっています。最近産業

技術の発達に伴い高度の職業訓練が要求されるようになって来ました。それで各地の訓練校で分散して訓練するよりも一番職種が多く充実している熊本専修職業訓練校で集中して訓練する方がより効果的と考えられます。現在五十四名を収容出来る寄宿舎がありますが、これが老朽化していることもあり、この際収容定員を八十名に拡充して寄宿舎を建設することにしました。

★ 勤労者青少年ホームおよび勤労婦人センター設置助成……一千五百五十万円

中小企業に働く勤労青少年の教養、娯楽、休養など健全な余暇活動の場として現在五市において勤労者青少年ホームが設置されていますが、本年度は人吉市が建設しますのでこれに助成をいたします。また、同じく中小企業に働く婦人及び勤労者家庭の主婦の教養や休養に使用するとともに、日常生活の相談や指導にあてるため、熊本市が勤労者婦人センターをつくり出すのでこれに助成をいたします。勤労者青少年ホームには、娯楽室、講習室、図書室、相談室、休養室、軽スポーツ施設などがつくられ、勤労婦人センターには、相談室、談話室、図書室、托児室、講習室、展示室、割ばう室、洗たく室、宿泊室、学童の学習室や軽運動室などが造られます。

★ 労働金庫融資……一億五千万円

勤労者のための住宅資金をはじめ、結婚、進学、疾病加療、物産購入などの資金の原資として、熊本県労働金庫に対する貸付金を増額するものです。